

## 平成 28 年度事業報告

平成 28 年度は定款 4 条に定められた事業を下記の通り実施いたしました。

本協会が実施している助成事業（演劇の関係者への助成金交付、海外研修者に対する助成、脚本家養成に対する助成）、普及事業（半額観劇会、学生対象の演劇教室）及び調査事業等の公的事業活動は充実し、演劇の振興と普及を図るという事業目的は達成いたしました。

### I 助成事業

#### （1）演劇関係者への助成金交付

演劇興行および演劇製作に寄与した団体または個人の功績をたたえ、表彰する助成金交付は、委員会の答申を受け、常務理事における審議の結果、本年度は下記の 4 氏が承認されました。表彰式は平成 29 年 2 月 27 日（月）午後 2 時から、ザ・プリンス パークタワー東京に理事、監事、委員出席のもと、大谷会長から各表彰者に助成金と賞状を贈呈いたしました。

（受賞者と授賞理由）

##### ① 立田 豊 殿

昭和 29 年に舞台大道具の世界に入り、爾来 60 有余年にわたってこの道ひとすじに歩んでこられました。そして大阪道頓堀の中座を皮切りに京都南座、大阪松竹座の大道具の責任者となり、松竹新喜劇や上方歌舞伎を始めとした数々の公演を裏方として支え、その的確な仕事ぶりには数多くの俳優や関係者が深い信頼を寄せています。

また、たつた舞台株式会社の責任者として 数多くの後進の育成にも尽力されています。

これまでの多年に亘る演劇界への貢献と功績を称え、推薦するものです。

##### ② 田中 佐太郎 殿

幼少期よりたゆまぬ研鑽を重ねられ、歌舞伎囃子方の演奏家として優れた成果をあげてこられました。

長年、国立劇場の養成事業の講師、また歌舞伎囃子協会会長として、後進の育成にも尽力され、貴殿の薫陶を受けた多くの演奏家が、古典芸能の世界で第一線として活躍しておられます。

歌舞伎囃子の継承と発展に対する多大なる貢献に、深く敬意を表するとともに、これまでの功績を称え、推薦するものです。

③ 常田 景子 殿

東京大学文学部心理学科に在学中から俳優としての活動をスタートされ、パルコ劇場制作部を経て、数々の戯曲翻訳に精力的に取り組まれてこられました。2001年には、「パウダー・ケグ」「パーフェクト・デイズ」の翻訳等の成果が認められ、湯浅芳子賞を受賞し、近年でもシアタークリエ公演「ピアフ」「グレイ・ガーデンズ」「姉妹たちの庭で」、新国立劇場公演「負傷者 16 人」「やけたトタン屋根の上の猫」等の話題作の翻訳を世に送り出してこられました。

原作戯曲の持つ魂をそのままに、観客に伝えるためのご努力、ヒットミュージカルからストレートプレイまで幅広い作品の翻訳に臨まれてきた真摯な姿勢は日本演劇界に大きな足跡を残すものであります。

これまでの功績を讃え、今後一層の活躍を願って推薦するものです。

④ 小川 美也子 殿

早稲田大学第一文学部演劇専攻卒業後、ミュージカル劇団フォーリーズを経て、1991年からフリーの演出スタッフとしてそのキャリアをスタートされました。以後、数多くの作品に携わり、近年では帝国劇場『エリザベート』『モーツァルト!』『ダンス オブ ヴァンパイア』『レディ・ベス』等の大作ミュージカルで演出補として作品の根幹を支えています。

音楽の扱い方、出演者の個性を生かした表現の指導に定評があり、『ファントム』『フットルース』での歌唱指導、高知市民ミュージカルの演出も手掛けてこられました。

また、舞台現場の最前線で活躍する傍ら、母校の舞台芸術学院では講師を務められ、後進の育成にも力を尽くされています。

これまでの長年の功績を讃え、今後一層の活躍を願って推薦するものです。

(2) 海外研修への助成

本年度の海外研修は、昨年に引き続き研修志望者を募り、各自が日程、行動を事由に設定し、滞在中は各自が責任行動する方法で実施いたしました。協会は往復の航空運賃、宿泊費、観劇チケット代金を助成いたしました。

本年はニューヨークに 15 名、ロンドンに 3 名の計 18 名が参加いたしました。

今年度で 26 回目となり、研修参加者の延べ人数は 508 名となりました。

(3) 新人脚本家養成のための助成

今年度も引き続き「脚本家養成講座」を開講し、「初心者コース」5 名、「中級コース」12 名、「マスターコース」9 名の計 26 名が受講いたしました。

通常の講義以外に、外部より講師を招いて特別講義を 1 回実施いたしました。

演劇の基盤を広げるためには優秀な脚本が求められます。演劇の脚本は一朝一夕に生まれるものではなく、長期的な養成が必要であります。継続して講座を維持してまいります。

## II. 普及事業

### (1) 半額観劇会

東京都、公益財団法人 東京都歴史文化財団、公益財団法人 都民劇場、大阪府、独立行政法人 日本芸術文化振興会、公益財団法人 名古屋市文化振興事業団、公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団と本協会とで共催している半額観劇会は、低価格で質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する事業として、都民、府民、市民から幅広く支持され、演劇人口の裾野を広げております。

本年度は、加盟 10 劇場と 1 社の協力を得て、東京地区 4 回、大阪地区 6 回、名古屋地区 3 回、福岡地区 9 回の合計 22 回実施いたしました。

|       |           |               |
|-------|-----------|---------------|
| 東京地区  | 29,133 人  | 182,026,900 円 |
| 大阪地区  | 50,059 人  | 264,530,600 円 |
| 名古屋地区 | 5,718 人   | 34,544,500 円  |
| 福岡地区  | 15,488 人  | 113,926,250 円 |
| 合計    | 100,398 人 | 595,028,250 円 |

なお、平成 28 年 4 月、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団、公益財団法人 都民劇場、大阪府、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人名古屋市文化振興事業団、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団と本協会とは、普及事業に関わる協定書に調印いたしました。また、公益財団法人名古屋市文化振興事業団、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団と本協会とは、普及事業に関わる取り扱い手数料について覚書に調印いたしました。

### (2) 学生対象の演劇教室

加盟劇場の観劇と組合せ、学生を対象とした演劇教室を開催し、若年層へ演劇の普及を行いました。

「学生のための歌舞伎教室」を、平成 28 年 6 月に博多座（参加者 100 名）にて行いました。

「学生のためのミュージカル教室」を、平成 28 年 6 月に帝国劇場（参加者 120 名）、平成 29 年 1 月に博多座（参加者 130 名）にて行いました。

### (3) 高校生劇評グランプリへの協賛

平成 25 年度より、公益社団法人国際演劇協会日本センター主催の「高校生劇評グランプリ」に協賛し、高校生の演劇への関心を高める一助となっております。

### Ⅲ. 会報の発行

協会の事業及び情報の周知を図るため、会報 50 号、51 号を発行いたしました。会報は会員、賛助会員、所轄官庁、関係団体、演劇評論家、演劇記者、業界紙、舞台関係者等々に配布いたしました。

### Ⅳ. 調査事業

ロンドン劇場協会が作成した加盟 53 劇場で実施された一年を通じたボックスオフィスデータの調査結果とロンドン劇場協会提携会員の 16 の準会員劇場の主要事項を内容としている「Box Office Data Report 2014」を入手し、演劇関係者の参考資料として翻訳、編集しました。

また、ぴあ株式会社が事業委託を受けて作成する「ライブエンターテインメント市場調査報告書」の調査・編集に協力しました。その報告書を入手し、加盟劇場と情報を共有いたしました。

### 報告事項

1. 一般社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）との音楽著作権料に関する交渉を継続して行う。
2. 委員の異動  
平成 28 年 10 月 シアタークリエ支配人・柴田淳氏就任、芦山典子氏退任。
3. 委員会の開催  
協会加盟劇場の支配人を委員とする委員会は、協会の事業活動方針を審議するために、平成 28 年度は 6 月、9 月、11 月、2 月の 4 回開催いたしました。

以 上